

琴芝の由来

琴崎八幡宮、元禄10年(1697)の上梁文に、「往昔有神人、自百濟国来、寄船於是海岬、彈琴於是柴之地、端坐晏如、故邇謂琴芝、と見ゆ」とある。

つまり、百濟から渡ってきた船が寄港したとき、芝の上で琴を弾いたことから、琴芝と言うようになったというのである。

梶返の由来

今から千百年以上も前、菅原道真公が京の都から太宰府へ左遷された船旅で、この地の沖を通ったとき、たまたま嵐に遭い、「楫(梶)を返して」避難されたといわれている。この地は昔、入江であった。

散歩コース

- ①常盤公園西駐車場→常盤神社→石炭記念館→野中道路→西駐車場(2.5km)
- ②常盤公園西駐車場→工学部通り→梶返南北道路→清水川交差点→常盤中学校→西駐車場(5km)
- ③琴芝ふれあいセンター→神原中学校→産業道路→神原交差点→沼交差点→梶返南北道路→琴芝ふれあいセンター(3.5km)
- ④宇部市立図書館→真綿川公園→西ノ宮橋→沼交差点→神原交差点→図書館(4km)

自然と歴史と未来が
ひびきあうまち琴芝

新鮮な
空気を吸って
テクテク歩こう